

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SSTココベリの森		公表日		R7年 2月 21日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準配置はしっかり配置できている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	室内はワンフロアになっており、棚の角などにはコーナーガードクッションをつけている。 ・利用者様へは、来所してからの流れをホワイトボードにてわかりやすく可視化している。	バリアフリー化は出入口全てを満たしてはいない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動によって、机等を移動し空間を広げて活用している。 ・日々の整理整頓を職員全員で毎朝行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別の部屋は確保されている。	個別の部屋は、複数名個別の場合は広さが不十分。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		目標の共有や、振り返りなどを定期的ミーティングなどを行ない周知、反省点の改善に繋げている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		支援計画などは事前に評価を頂き、支援計画に反映している。その他、日常のご意見やご相談など事業所内相談等を行ったり、連絡帳などで伺い、支援に反映している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的にミーティングを行ったり、面談を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	行政の実地指導や、他部門の担当の内部監査などを行なっている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的な社内研修及び、外部研修を行い参加している。受講後は所感（レポート）提出をし振り返りを行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		担当者会議や策定会議、ミーティングでの内容と利用者様の様子を照らし合わせ、作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		更新時に策定会議を行い、情報の共有を行ったうえで、目標や伸ばしたいところなどの話し合いを行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画を共有したうえで、共有漏れないように、職員が各自情報をいつでも確認出来るようになっていく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	日々の支援の中で気づき等も業務内で報告、共有しあっている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			家族を含めた支援の取り組みが、まだ少し弱い部分があるため、今後検討し取り組みを強化していく必要がある。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員ミーティングなどでイベント・戸外活動・見学体験などを実施している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		プログラムが固定しないよう、様々な活動の内容を考える事が出来ている。 学年やそれぞれの課題を考え、その日の活動に可能な限り取り入れ、設定している。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SSTココベリの森		公表日		R7年 2月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別での支援や、その日の状況、利用者様のニーズにより両支援内容を取り入れている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	活動計画（実施）内容ファイルを活用して支援に関わる職員へ打ち合わせを行っている。	毎回必ず打ち合わせをする。という時間を設けることが出来ない為、毎回決まった時間で打ち合わせをする時間を設ける事が必要。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	送迎の関係で時間がない時もあるが、その場合は次の日行なうなど共有している。利用者様の様子がいつも違う場合は都度共有している。	利用者様の様子や支援内容の、振り返りなど改善点の共有をもう少しその日にしっかり行えたら。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		連絡帳やケース記録に残すことで振り返りの材料としている。また、次回支援の際などに活かせるよう参考、検討している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		ミーティングでの共有や、個別計画の見直しや外部モニタリング前などに、事業所でもモニタリングを行い、意見交換などを行っている。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		組み合わせを行い、支援の中に活かしている。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自分達で何がしたいかを決めてもらう機会を作り、難しい子には職員と一緒に考えている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児発管や専門職が参加している。 (事前に現場職員と対象児についてモニタリングを行い参加している)		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		何かあった際には、相談支援専門員や学校関係等、必要な関係機関と連携を取らせて頂き、会議を行い共有する等行っている。		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校の送迎時等や、保護者を介して必要な情報や確認事項については適宜行っている。	学校によっては連携の取りづらい所もある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		会議があった際、情報共有を行っている。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		移行支援などの際に、関係機関とモニタリングを行い共有している。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		研修等を通して連携していければ良いと考える。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		事業所としての交流は無いが、地域の学校に通所している子や、学童と併用している子が多い。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		職員によりまだ未参加の職員もいるため、職員にも順次参加を促して行こうと思う。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳やLINE、送迎時、状況に応じて連携を取り合い、日々の様子や情報共有を行ったり、事業所内相談も随時行う機会を設けている。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約や、会議その他必要がある際に、必ず説明をさせて頂いている。	携わった事のない職員もいる為、全員が行えるようにしていく。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		会議や、日々の情報共有の中で、ご家族の思いや利用者様の課題や思いを汲み取り、その中でサービス提供の作成を行っている。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SSTココベリの森		公表日		R7年 2月 21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		御署名を頂く際、説明を行っている。作成担当がお会いできない際は、書面や電話にて説明を行っている。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要時に適宜、事業所内相談を行っている。その他電話などで、随時対応を行っている。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	運動会や泥リンピックなど、保護者様、御兄弟が参加できるようなイベントを行っている。	参加型のイベントはあるが、ゆっくりお話を出来る機会としての、保護者会のなどの開催がないので、検討していきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		職員同士で情報共有等行い、即時対応を行っている。また株式会社で委員会を設置しており、事業所毎に相談苦情委員を設定している。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		活動内容を、毎月のお便り発行やSNSを通じて発信している。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		ファイルに綴り、鍵付きの書庫に保管し、必要な場合（会議等）以外は、外部へ持ち出さないように管理している。		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々の困り感や特性を理解し、分かりやすい言葉や状況など配慮を行っている。また保護者様の状況に応じた連絡の方法にて、共有を行っている。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	マルシェの開催を行っている。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	各委員会で作成しマニュアルを策定している。職員は全員周知し確認できるように、会議録やミーティングにて共有している。	保護者様への周知が不十分な面がある為、契約の際や、変更があった際は書面などで周知を行って行きたい。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に委員会の実施をしている。また活動の時間に訓練等の実施をしている。		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		担当者会議や、事前の利用者様の情報書面等で確認を行っている。また服用を開始された場合も、情報を頂いている。		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	事前に、個人情報書面等で確認を行っている。	現在の所、対象児童が居ない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	計画は委員を通し作成されている。	訓練等が不足していると感じるため、事業所内研修等の機会や訓練を行う機会を作る。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	よく利用する場所などの、遊具などを定期的に確認している。	家族周知がまだ不足している部分があるので、お知らせする機会を作っていく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの作成、共有、再発防止など委員会を通じて行い、それぞれ事業所などでも振り返りや見直しを行っている。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		事業所内研修や、外部研修を行い職員へ意識付けや、共通認識を行っている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		委員会で協議を行ったり、重要事項説明書に記載を行っている。			